

**授業概要**

人が「感じる」「わかる」「思う」「学ぶ」とはどういうことなのでしょう？ 認知心理学は、これらの心の働きを支える仕組みを科学的に明らかにしようとする心理学の分野です。本授業では、認知心理学の幅広い領域に関して、それぞれの領域を代表する基本的な理論・モデルを紹介します。具体的には、視聴覚を中心とした感覚・知覚の基礎構造と機能や、情報処理アプローチの立場から人の認知・思考などのメカニズムおよびその障害について講義します。授業では、感覚・知覚の興味深い現象や、注意、ワーキングメモリ、長期記憶、意思決定などについて、楽しく実感できるような演習を交えながら、心の動きを支える複雑な情報処理について理解を深めていただきます。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス：認知心理学とは
第 2 回	歴史と研究法
第 3 回	感覚・知覚
第 4 回	感性
第 5 回	パターン認知
第 6 回	注意
第 7 回	記憶（1）：分類とモデル
第 8 回	記憶（2）：日常記憶と忘却
第 9 回	感情
第 10 回	概念と言語
第 11 回	イメージ
第 12 回	問題解決・推論・意思決定
第 13 回	社会的認知
第 14 回	認知の個人差
第 15 回	知覚・認知の障害
第 16 回	試験

**到達目標**

- ・ 認知心理学における基礎的な知識を学び、認知心理学の研究方法を理解し、説明することができる。
- ・ 日常生活における身近な現象・問題について、認知心理学的知見を基に考察できる。

**履修上の注意**

- ・ 遅刻・欠席はしないこと。授業での演習や討論に積極的に参加すること。
- ・ 認知の働きについて、自ら関連文献を調べ、理解を深めようと取り組むこと。

**予習・復習**

- ・ 授業の進捗状況に合わせて配布資料などを参考に予習復習を行うこと。
- ・ 授業中に質問し、意見を求めるなどして、予習復習の確認をおこなうことがある。

**評価方法**

授業における課題（60%）と学期末試験（40%）から総合的に評価する。

**テキスト**

資料を配布するためテキストは指定しない。授業内で、参考書を適宜紹介する。